

0530 | 環境学

2 単位 (通信授業 2 単位)

渋江桂子講師

授業の概要と目標

この環境学の科目は、地球環境と人間活動とのかかわりについての理解を深め、あらためてそれぞれに自分の日常に、賢明な心配りが行き届くようになることを、まずは期待しています。大切なキーワードは、生態学、都市、景観のイメージ、生物多様性、自然植生、エネルギー、賢明な市民、地球温暖化と温室効果ガス、水系、土壌、そして経済などです。よく整理し、理解したうえで、地球環境と人間活動についての自分の考えを明確にしてください。

課題の概要

○通信授業課題 1

地球環境問題に関して理解を深め、さらに、都市化や自然環境の喪失が人間の心身に与える影響について様々な角度から理解する。そのうえで人間の生き方について考え、あらためてそれぞれの日常に、賢明な心配りが行き届くようにすることを目的とした課題。

○通信授業課題 2

多様な生態系とその維持システム、保全手法に関して理解を深め、そのうえで、身の回りの自然環境に目を向けて「どのように保全するか」について考えることを目的とした課題。

※課題 1・2 は、それぞれ、(A) と (B) から構成されています。

○(A) (課題 1・2 共通)

(A) では、各課題に関連する箇所の教科書を熟読し、各章に取り上げられている参考文献にも目を通して理解を深めましょう。教科書の各章に挙げた参考文献は、ぜひ読んでほしい名著ばかりです。何処の図書館でも手にすることが出来るでしょう。各章、どの一冊でも良いですから、自分で読みやすいものをえらんでしっかり読み込んでください。そのうえで、解答してください。

○(B) (課題 1・2 共通)

(A) で各課題に対する理解を深めたうえで、実践的な課題 (B) に取り組んで下さい。

大学所定のレポート用紙に書く必要はありません。必要なイラストや図表を効果的に作成して論旨を展開して下さい。課題内容によっては、絵画、イラスト、映像、アニメなどにも挑戦して、プレゼンテーションの方法を工夫してみましょう。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書をしっかり読んで理解すること。

成績評価の方法

◎科目試験

課題 (A) より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：立花直美他『環境論』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

〈執筆者と関係した分野と章〉

序章、1 章、3 章、終章 立花直美：建築学、都市生態学。

2 章 渋江桂子：生態学、景観生態学。

4 章 高間三郎：建築設備設計、自然エネルギーの開発と活用。

5 章 市田則孝：自然保護と市民運動、NGO の活動の展開。

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）